中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕

市野々地区

土地改良事業（変更）計画書

（農業用用排水施設整備）

県名	岩手県
地区名	市野々
所在地	一関市
事業主体	岩手県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1
第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地域 ---------- 2
　第２節　地積 ---------- 2
第３章　現況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１．一般気象 ---------- 3
　　２．特殊気象 ---------- 4
　　３．海象 ---------- 該当なし
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１．地形、土壌及び浸食の程度 ---------- 5
　　２．土地分類 ---------- 該当なし
　　３．土地利用の状況 ---------- 7
　　４．土地所有の状況 ---------- 8
　第３節　水利状況 ---------- 9
　　１．用水状況 ---------- 9
　　２．排水状況 ---------- 13
　　３．河川状況 ---------- 該当なし
　第４節　道路概況 ---------- 16
　　１．道路概況 ---------- 16
　　２．主要道路一覧表 ---------- 17
　第５節　地域農業の概況 ---------- 19
　　１．産業別就業人口 ---------- 19
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 ---------- 20
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 21
　　４．主要作物作付状況 ---------- 22
　　５．農業の動向 ---------- 23
　第６節　地域環境の概況 ---------- 23
第４章　一般計画 ---------- 24
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 24
　　１．要旨 ---------- 24
　　２．事業別面積 ---------- 24
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 25
　　１．営農計画の概要 ---------- 25
　　２．土地利用区分 ---------- 25
　　３．作付方式 ---------- 26
　　４．生産計画 ---------- 27
　　５．労働改善計画 ---------- 28
　　６．級地別土地利用区分 ---------- 該当なし
　　７．土地配分計画 ---------- 該当なし
　第３節　用水計画 ---------- 29
　　１．計画基準年 ---------- 29
　　２．計画かんがい方式 ---------- 29
　　３．計画用水系統図 ---------- 29
　　４．計画用水量 ---------- 31
　　５．水源計画 ---------- 32
　第４節　排水計画 ---------- 35
　　１．計画基準雨量 ---------- 35
　　２．計画排水方式 ---------- 35
　　３．計画排水系統図 ---------- 35
　　４．計画排水量 ---------- 37
　　５．排水対策 ---------- 38
　　６．湛水検討 ---------- 該当なし
　第５節　道路計画 ---------- 39
　　１．道路及び索道 ---------- 該当なし
　　２．路線配置図 ---------- 該当なし
　第６節　農用地造成計画 ---------- 該当なし
　　１．農用地造成計画 ---------- 該当なし
　　２．土壌改良 ---------- 該当なし
　第７節　洪水調節計画 ---------- 該当なし
　　１．計画基準雨量 ---------- 該当なし
　　２．計画洪水量及び調節量 ---------- 該当なし
　　３．貯水池 ---------- 該当なし
　　４．洪水調節検討 ---------- 該当なし
　　５．管理計画 ---------- 該当なし

第８節　干拓計画 ---------- 該当なし
第９節　農用地整備計画 ---------- 42
１．区画整理 ---------- 該当なし
２．暗渠排水 ---------- 該当なし
３．客土 ---------- 該当なし
４．農地保全 ---------- 該当なし
第１０節 老朽ため池改修計画 ---------- 該当なし
１．洪水吐改修計画 ---------- 該当なし
２．堤体補強計画 ---------- 該当なし
３．取水施設改修計画 ---------- 該当なし
第５章　主要工事計画 ---------- 45
第１節　用水施設 ---------- 45
１．貯水池 ---------- 該当なし
２．頭首工 ---------- 該当なし
３．揚水機 ---------- 該当なし
４．用水路 ---------- 46
５．その他かんがい施設 ---------- 該当なし
第２節　排水施設 ---------- 47
１．排水水門 ---------- 該当なし
２．排水機 ---------- 該当なし
３．排水路 ---------- 47
４．その他排水施設 ---------- 該当なし
第３節　道路及び索道 ---------- 48
１．道路 ---------- 該当なし
２．索道 ---------- 該当なし
第４節　農用地造成 ---------- 該当なし
１．農用地造成 ---------- 該当なし
２．土壌改良 ---------- 該当なし
第５節　洪水調節施設 ---------- 該当なし
１．貯水池 ---------- 該当なし
２．頭首工及び導水路 ---------- 該当なし
第６節　干拓施設 ---------- 該当なし
１．堤防 ---------- 該当なし
２．潮止め ---------- 該当なし
３．付属施設 ---------- 該当なし
４．埋立 ---------- 該当なし
第７節　農用地整備施設 ---------- 50
１．区画整理 ---------- 該当なし
２．暗渠排水 ---------- 該当なし
３．客土 ---------- 該当なし
４．除礫 ---------- 該当なし
５．農地保全 ---------- 該当なし
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 該当なし
１．貯水池 ---------- 該当なし
２．堤体補強施設 ---------- 該当なし
第６章　附帯工事計画 ---------- 該当なし
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 51
第８章　環境との調和への配慮 ---------- 51
第９章　換地計画の概要 ---------- 52
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 52
第２節　換地区の設定 ---------- 52
１．換地区の名称、所在、面積 ---------- 該当なし
２．換地区を設定する理由 ---------- 該当なし
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 53
１．従前の土地の地積の基準 ---------- 該当なし
２．用途別予定地積 ---------- 該当なし
３．農用地集団化の方針 ---------- 該当なし
４．非農用地の換地方法 ---------- 該当なし
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 該当なし
１．評価の方法 ---------- 該当なし
２．清算の方法 ---------- 該当なし
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 該当なし
第６節　換地処分の時期の関する特則 ---------- 該当なし
第１０章　事業費の総額及び内訳 ---------- 57
第１１章　効用 ---------- 57
第１２章　関連する事業 ---------- 58
第１３章　現況・計画図面 ---------- 59
１．位　置　図 ---------- 59
２．現況計画平面図 ---------- 59
３．土地利用計画図 ---------- 59
４．主要構造図 ---------- 59

上段:変更後
下段:変更前

第１章　　目　　的

本計画地域は、岩手県の最南端の一関市中心部より西方10kmの一関市萩荘に位置し、地区の西側に連なる須川岳（栗駒山）をはじめとする奥羽山脈の裾野に広がる丘陵地帯である。地区内には、一級河川久保川、一級河川市野々川、一級河川栃倉川及びその他複数の河川が流れ、また、国道457号と県道本郷・五串線が走り、各河川沿いに形成された松原、市野々の集落からなる水田地帯である。

本地区は、団体営土地改良事業市野々地区及び団体営土地改良事業松原地区で整備し、30a区画となっている。

地区内の水路は、一部土水路であるが、大部分がコンクリートフリューム及びコンクリート柵渠で装工されているものの老朽化による劣化が著しく、用水路の目地からの漏水や排水路の柵渠の倒壊による土壌の浸食等が生じ、水管理の負担の増加、及び水路の補修・更新などの維持管理費の増加が地区の問題となっている。

以上の問題を解消するために、用排水路の更新整備を行い、水管理及び維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

上段:変更後
下段:変更前

第２章　地　域　及　び　地　積

第１節　地　　域

（第１表）

事 業 名	地　　域
〃 用 排 水 整 備	〃 岩手県一関市萩荘地内

第２節　地　　積

（令和６年12月現在）
（令和３年3月現在）　（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
用排水整備	一関市	75.6 75.7					75.6 75.7	現況地区面積
	計	75.6 75.7					75.6 75.7	
	計							
合　　計		75.6 75.7					75.6 75.7	

上段:変更後
下段:変更前

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和 6年3月版）
（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成31年3月版）

（第３表－１）

観測所名	一関気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H25年～ R 4年 H20年～ H29年	〃 ５月 ～ ８月	〃 ９月 ～ ４月		
平均気温（℃）		21.1 20.8	7.6 7.3	12.1 11.8	
降水量	平均(mm)	543.1 501.1	659.3 678.0	1,202.4 1,179.1	
	基準年(mm)	〃 —	〃 —	〃 —	
降水日数	平均(日)	44 42	70 75	114 117	
	基準年(日)	〃 —	〃 —	〃 —	
根雪期間		〃 月　日 ～ 月　日	〃	〃 日間	
無霜期間		〃 4 月　28日 ～ 10月 31 日	10月 30 日	186 日間 187 日間	
最多風向		〃 NNW	最大風速 (風向)	〃 10.7 m/s 〃 (NNW)	最多風向発生時期　〃 9月～ 5月 最大風速発生年月日　〃 平成28年12月2日

上段:変更後
下段:変更前

２．特殊気象

（計画樹立参考資料　令和 6年）
（計画樹立参考資料　平成31年）　（第３表－２）

観測所名 一関気象観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 M34年～ R4年 M34年～H29年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	〃 285	〃 S22.7.22	〃 ・・・	〃 246	〃 S23.9.16	・・・ 1/845	〃 212	〃 M42.8.28	1/400 1/365	〃 153	〃 S61.8.5	1/42 1/41	〃 153	〃 S43.8.11	1/42 1/41	
最大時間雨量 (mm)	〃 49	〃 H6.8.19.15	1/67 1/60	〃 45	〃 S48.6.20.17	1/35 1/32	〃 43	〃 H2.10.26.14	1/26 1/24	〃 41	〃 H17.8.14.18	1/19 1/17	〃 40	〃 H3.8.31.13	1/16 1/15	
最大４時間雨量 (mm)	〃 89	〃 S41.9.25.8	1/35 1/34	〃 87	〃 H14.7.11.8	1/30 1/29	〃 87	〃 S43.8.11.24	1/30 1/29	〃 86	〃 S33.8.18.14	1/28 1/27	〃 83	〃 H25.7.26.18	〃 1/22	
最大連続雨量 (mm)	〃 318	〃 S22.7.22	・・・ 1/872	〃 236	〃 M43.8.15	1/99 1/89	〃 223	〃 H14.7.11	1/66 1/61	〃 212	〃 M42.8.28	1/47 1/44	〃 205	〃 S33.7.24	1/38 1/36	
最大連続旱天日数 (日)	〃 41	〃 S21.7.14	〃 ・・・	〃 40	〃 S48.6.24	〃 ・・・	〃 35	〃 S13.7.26	1/402 1/392	〃 32	〃 S2.7.31	1/96 1/94	〃 31	〃 S39.7.20	1/63 1/62	

３．海　　象　　〃該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び浸食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 10° ～15°	8° ～15° 8° ～15°	15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低	
用排水整備	面積(ha)			75.6 75.7			75.6 75.7									〃 150	〃 60	
	比率(%)			〃 100			〃 100											
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)			75.6 75.7			75.6 75.7											
	比率(%)			〃 100			〃 100											

上段:変更後
下段:変更前

〔水田土壌〕　　（第４表－１－２）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理		計	
〃 北寄木統 強グライ土壌 強粘土還元型	〃 青灰 青灰	〃 なし	〃 なし	〃 あり 0～30cm	〃 Lic	〃 LiC	〃 －	〃 なし なし あり	〃 水積	〃 非固結火成岩 非固結堆積岩	64.4 64.5		64.4 64.5	〃 D-30
〃 狐禅寺統 黄褐色土壌 強粘土型	〃 黄褐 黄褐	〃 なし	〃 なし	〃 あり	〃 Lic	〃 LiC	〃 －	〃 なし なし なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	〃 11.2		〃 11.2	〃 I-81
計											75.6 75.7		75.6 75.7	

上段：変更後
下段：変更前

２．土地分類　　該当なし

３．土地利用の状況

（令和６年12月現在）
（令和２年３月現在）（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用排水整備	一関市	75.6 75.7											75.6 75.7	
	計	75.6 75.7											75.6 75.7	
	計													
	計													
合計		75.6 75.7											75.6 75.7	

上段:変更後
下段:変更前

４．土地所有の状況

（令和６年12月現在）
（令和３年３月現在）　（第４表－４）

事業名	区分＼所有別	個人有	市有	国有	その他			計	備　考
用排水整備	面　積(ha)	75.6 75.7						75.6 75.7	
	受益者数(人)	〃 102						〃 102	
	筆　数(筆)	〃 471						〃 471	
	権利関係								
	備　考 (関係戸数)	〃 (102)						〃 (102)	
	面　積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆　数(筆)								
	権利関係								
	備　考 (関係戸数)								
合計	面　積(ha)	75.6 75.7						75.6 75.7	
	受益者数(人)	〃 102						〃 102	
	筆　数(筆)	〃 471						〃 471	
	権利関係								
	備　考 (関係戸数)	〃 (102)						〃 (102)	

第３節　水利状況

１．用水状況

〃

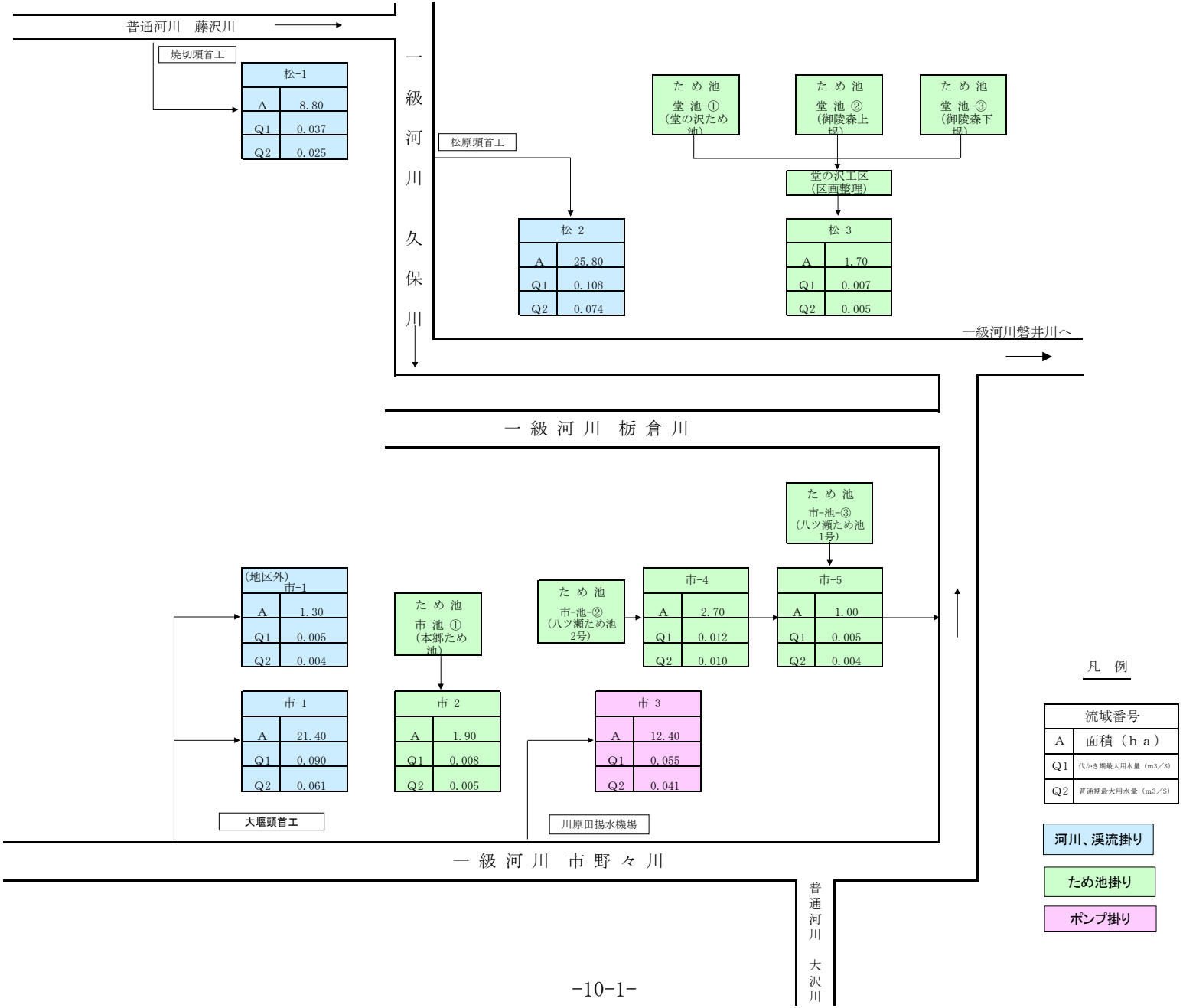
水源は、一級河川久保川、一級河川市野々川、普通河川藤沢川であり、大堰頭首工、松原頭首工、焼切頭首工より取水されているが、堂ノ沢ため池、本郷ため池、八瀬ため池からも取水している。水路は、コンクリートフリュームで装工されているが、老朽化による劣化が著しく、目地からの漏水もあり、補修・更新を行うなど、水管理や維持管理費に多大な労力を費やしている状況である。

（１）　用水系統

次頁参照

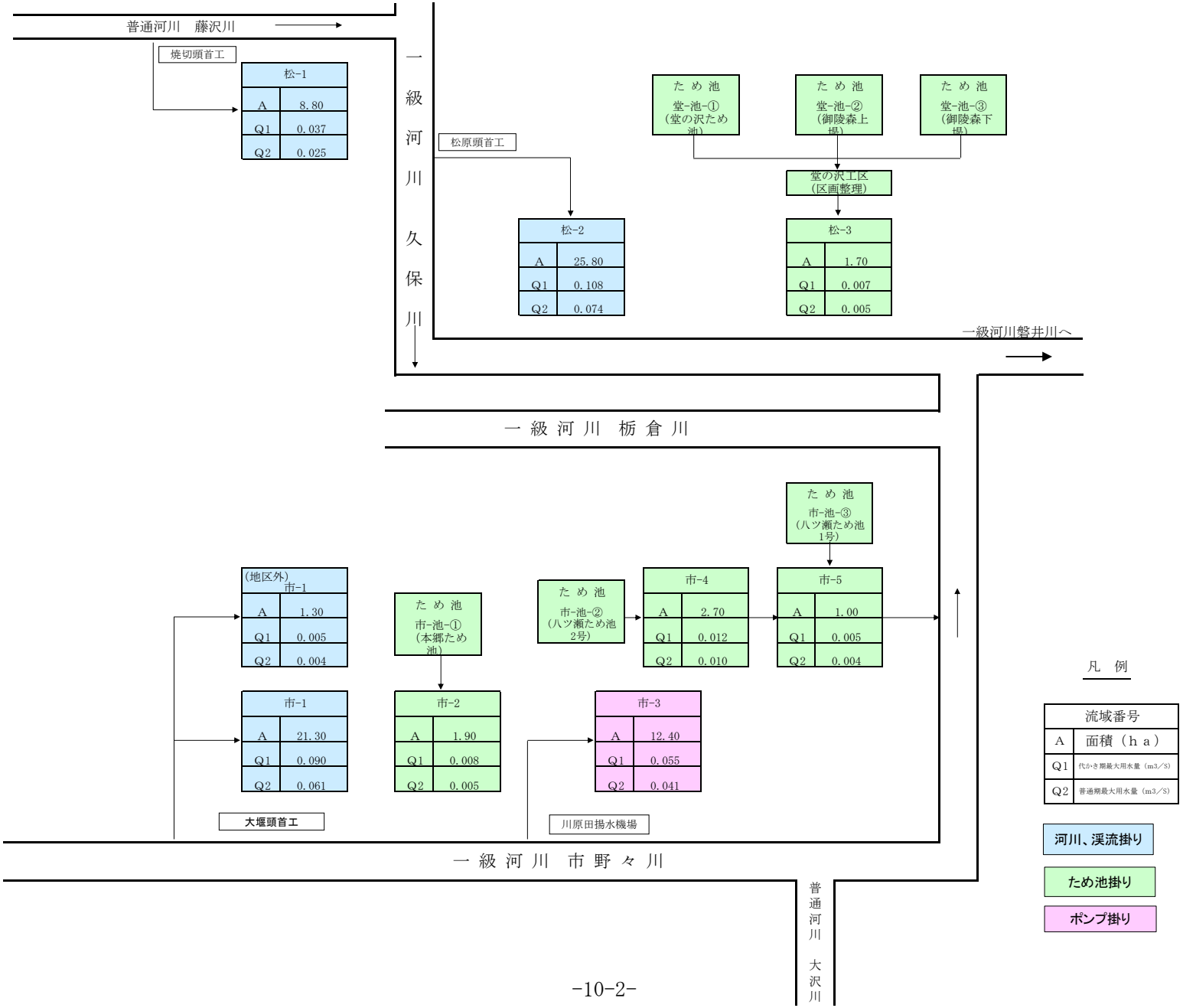
変更前

市野々地区（用排水整備）　現況用水系統模式図



変更後

市野々地区（用排水整備）　現況用水系統模式図



上段:変更後
下段:変更前

（２）　用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
用排水整備	貯水池					〃 6	〃 7.3	〃 6	〃 7.3						上段:代掻き 下段:普通期
	井堰					〃 3	55.9 56.0	〃 3	55.9 56.0			〃 3	〃 〃 0.335 0.293	〃 〃 0.335 0.293	
	自然取水口														
	揚水機					〃 1	〃 12.4	〃 1	〃 12.4			〃 1	〃 〃 0.047 0.020	〃 〃 0.047 0.020	
	その他														
	計					〃 10	75.6 75.7	〃 10	75.6 75.7					〃 〃 0.382 0.313	
合計						〃 10	75.6 75.7	〃 10	75.6 75.7					〃 〃 0.382 0.313	

上段:変更後
下段:変更前

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
用排水整備	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機	〃 —	〃 —		〃 —	〃 —	〃 —	
	用水路	〃 —	75.6 75.7	〃 開水路	〃 L=13,398m	〃 S54	〃 老朽化	
	その他							
	計		75.6 75.7		〃 L=13,398m			
合計			75.6 75.7		〃 L=13,398m			

（３）　用水に関する被害状況　〃 該当なし

（４）　ため池決壊の場合の想定被害状況　〃 該当なし

２．排水状況

〃

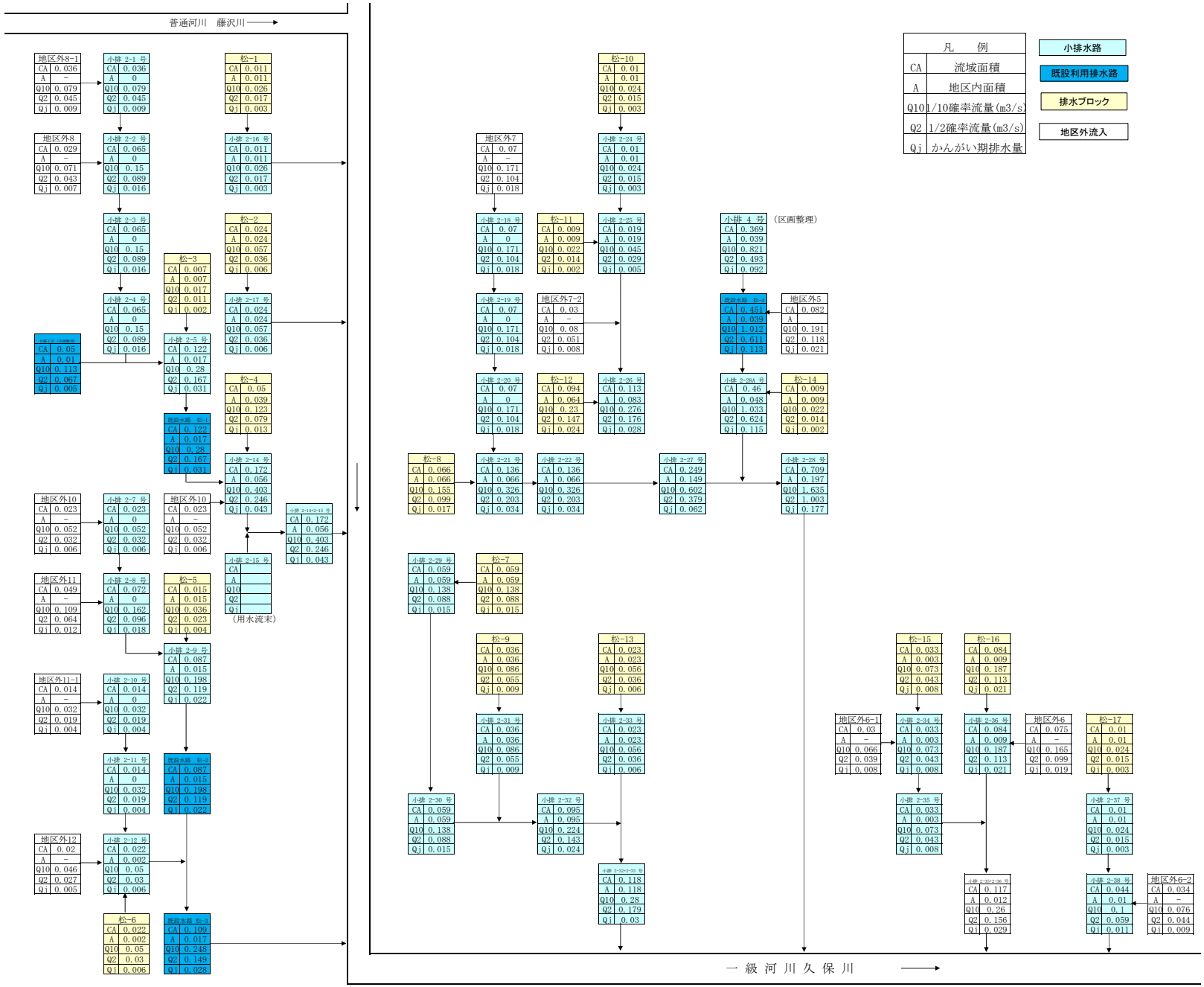
排水は、用水と分離されており、地区内の水路を経て、一級河川久保川、一級河川市野々川へ自然排水される。

水路は、コンクリート柵渠又は土水路となっており、柵渠の倒壊や土羽の崩壊が多数に見られる。柵渠の更新や土砂上げ等の維持管理に多大な労力を費やしている状況である。

(1) 排水系統

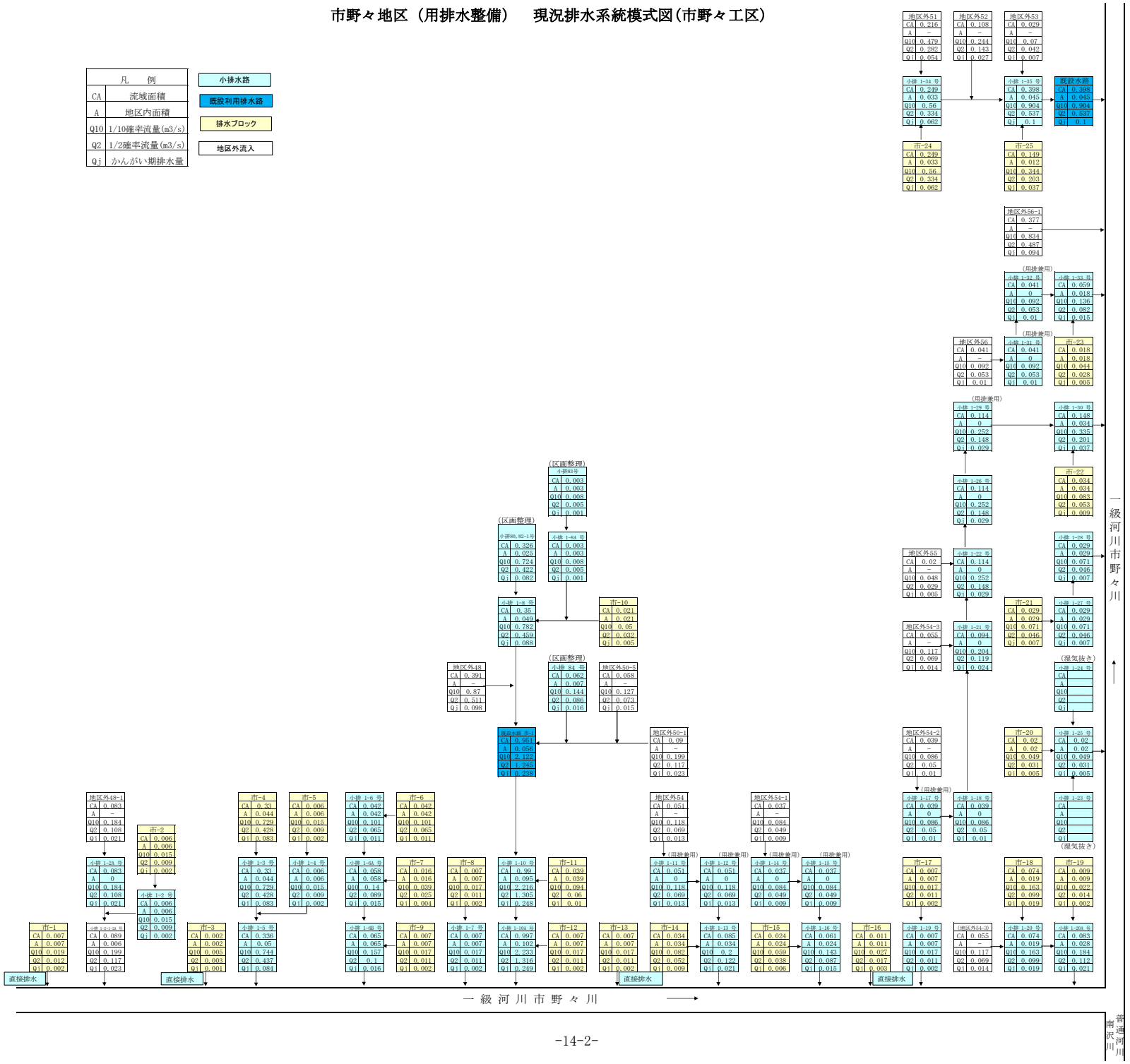
次頁参照

市野々地区（用排水整備）　現況排水系統模式図(松原工区)



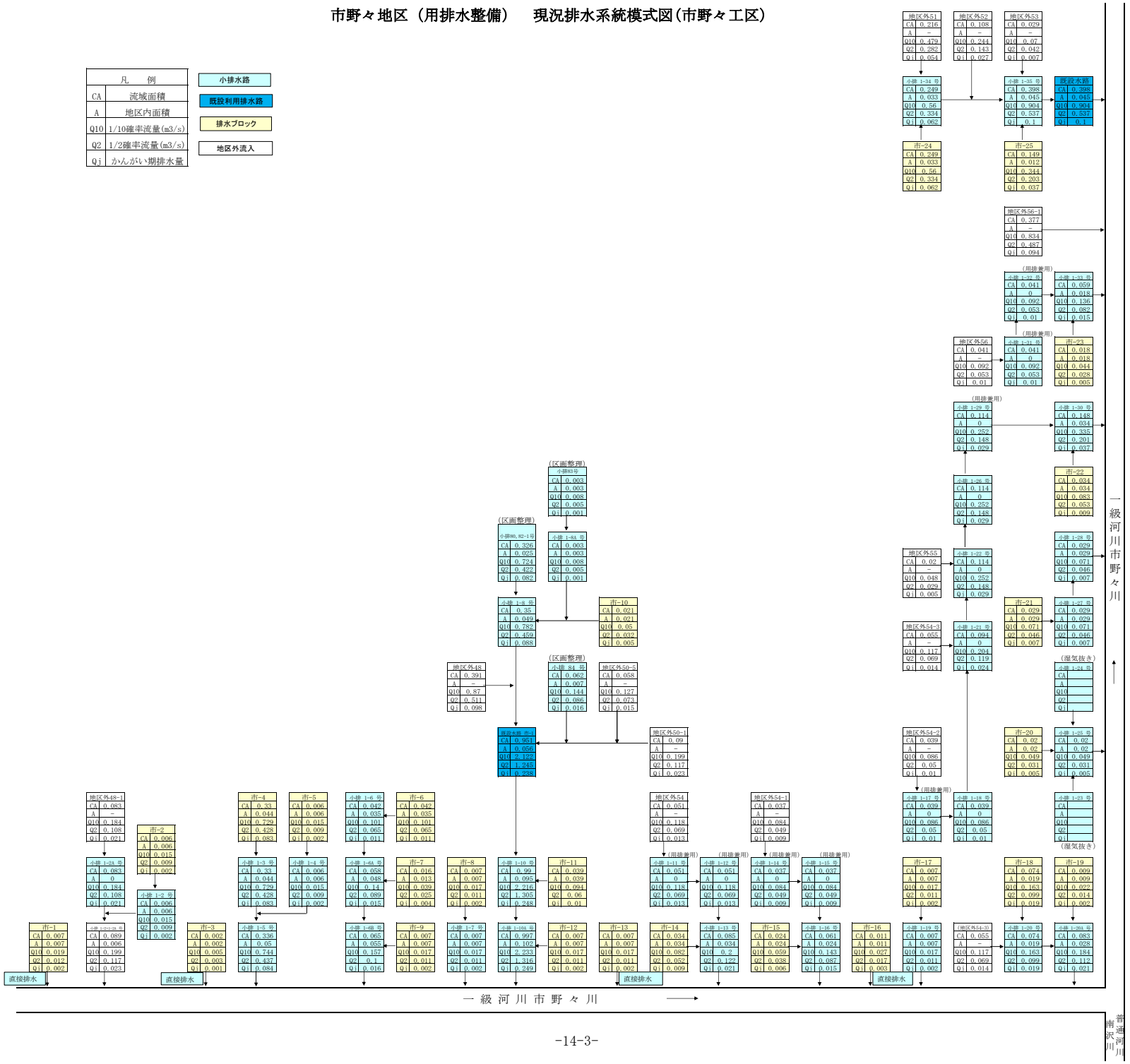
市野々地区（用排水整備）　現況排水系統模式図（市野々工区）

変更前



市野々地区（用排水整備）　現況排水系統模式図（市野々工区）

変更後



上段:変更後
下段:変更前

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第５表－４)

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
用排水整備	自然	排水路					〃 27	〃 171.7	〃 27	〃 171.7	〃 3.982		
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						〃 27	〃 171.7	〃 27	〃 171.7	〃 3.982		
合計							〃 27	〃 171.7	〃 27	〃 171.7	〃 3.982		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第５表－５)

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
用排水整備	自然	排水路	〃 —	〃 171.7	〃 コンクリート柵渠	〃 L=7,924m	〃 S54	〃 老朽化	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			〃 171.7		〃 L=7,924m			
合計				〃 171.7		〃 L=7,924m			

(3) 排水に関する被害状況　〃 該当なし

３．河川状況　〃 該当なし

第４節　道路概況

１．道路概況

〃

本地区の耕作道は、昭和54年に完工した団体営土地改良区改良事業市野々地区、同じく昭和54年完工の団体営土地改良事業松原地区により整備され、幅員4.0～5.0mの砂利道となっている。営農上の支障は特にない。

上段:変更後
下段:変更前

２．主要道路一覧表

県道・主要地方道　　〃 該当なし　　（第６表）

NO.	路　線　名	管理区分別	延　長 (m)	幅　員（m） 全　幅	幅　員（m） 有　効	構　造	改修の要否	備　考

市道

NO.	路　線　名	管理区分別	延　長 (m)	幅　員（m） 全　幅	幅　員（m） 有　効	構　造	改修の要否	備　考
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
1	松原広面線	市	770	8.5		アスファルト舗装	否	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
2	中沢線	〃	22	5.3		〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
3	上要害栃倉線	〃	319	5.3		〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
4	馬場線	〃	758	5.9		〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
5	松原2号線	〃	228	5.0		砂利道	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
6	松原3号線	〃	416	3.8		砂利道	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
7	堂の沢1号線	〃	583	5.0		アスファルト舗装	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
8	曲渕線	〃	394	4.0		〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	
9	老流・外山線	〃	466	5.2		〃	〃	

上段:変更後
下段:変更前

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口

（第７表－１）

項目 市町村名	総数 （人）	農業 （人）	林業 （人）	漁業 （人）	鉱業 （人）	建設業 （人）	製造業 （人）	電気ガス熱供給水道業 （人）	運輸通信業 （人）	卸売小売業飲食店 （人）	金融保険業 （人）	不動産業 （人）	サービス業 （人）	公務 （人）	その他 （人）	備考
〃	56,355	6,543	222	20	68	5,030	11,473	168	2,935	7,254	811	464	8,420	1,700	11,247	
一関市	60,063	7,675	227	37	100	5,784	12,194	192	3,078	7,869	872	469	19,065	1,783	718	
計	56,355	6,543	222	20	68	5,030	11,473	168	2,935	7,254	811	464	8,420	1,700	11,247	
	60,063	7,675	227	37	100	5,784	12,194	192	3,078	7,869	872	469	19,065	1,783	718	
比率（%）	〃	〃	〃	〃	〃	9%	〃	〃	〃	〃	1%	〃	15%	〃	20%	
	100%	13%	0%	0%	0%	10%	20%	0%	5%	13%	2%	1%	32%	3%	1%	

岩手県統計年鑑（R2国勢調査）
岩手県統計年鑑（H31国勢調査）

上段:変更後
下段:変更前

2．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）										一戸当たり平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		例外規定適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積（ha）	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
〃 一関市	8,996 11,352	－ 12	－ 1625	－ 2615	－ 1437	－ 752	－ 656	－ 384	－ 225	－ 89	3,487 3,557	1.50 1.1	0.46 0.2	0.05 0.2	2.01 1.5	－ －	2.01 1.5	－ －	－ －	－ 1733	－ 801	－ 5261	
計	8,996 11,352	－ 12	－ 1,625	－ 2,615	－ 1,437	－ 752	－ 656	－ 384	－ 225	－ 89	3,487 3,557	1.50 1.1	0.46 0.2	0.05 0.2	2.01 1.5	－ －	2.01 1.5	－ －	－ －	－ 1,733	－ 801	－ 5,261	
比率	100% 〃	－ 0%	－ 14%	－ 23%	－ 13%	－ 7%	－ 6%	－ 3%	－ 2%	－ 1%	39% 31%	75% 74%	23% 13%	2% 13%	100% 100%	－ 0%	100% 100%	－ －	－ －	－ 22%	－ 10%	－ 68%	

2020農林業センサス
H27農林業センサス

上段:変更後
下段:変更前

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
〃 一関市	－ 7,249	－ 5,951	－ 4,876	－ 4,735	－ 2,419	－ 2,303	2,723 3,480	128 157	10,753 15,021	766 1,030	136,066 82,878	11 10	
計	〃 7,249	〃 5,951	〃 4,876	〃 4,735	〃 2,419	〃 2,303	2,723 3,480	128 157	10,753 15,021	766 1,030	136,066 82,878	11 10	
100戸当たり数量（台、頭）	－ 122		－ 103		－ 105		30 2,217		120 1,458		1,513 828,780		
利用戸数割合（%）		－ 52%		－ 42%		－ 21%		〃 1%		〃 9%		〃 0%	農家戸数 8,996戸 11,352戸

2020農林業センサス
H27農林業センサス

上段：変更後
下段：変更前

４．主要作物作付状況

（第７表－４）

市町村名			一関市				計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			18,100 18,200				18,100 18,200			
作物名 ＼ 区分			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	〃 水稲	5,431 6,009	509 519			5,431 6,009	509 519	49 64	
田	表作	〃 小麦等	113 127	194 140			113 127	194 140	1 1	
田	小計		5,544 6,136				5,544 6,136		74 65	
普通畑	春夏作	〃 麦類(小麦他)	〃 －	〃 －			〃 －	〃 －	〃 －	
普通畑	春夏作	〃 豆類(大豆他)	118 157	106 101			118 157	106 101	1 2	
普通畑	春夏作	〃 野菜類(なす他)	37 197	1,460 3,447			37 197	1,460 3,447	0 2	
普通畑	春夏作	〃 花き類・花木(りんどう他	－ 83	－ 2,220			－ 83	－ 2,220	－ 1	－ 単収(1000本/10a)
普通畑	春夏作	〃 牧草	1,416 1,809	2,640 －			1,416 1,809	2,640 －	13 19	
普通畑	春夏作	〃 その他	1,115 767	〃 －			1,115 767	〃 －	10 8	
普通畑	春夏作	〃 ―	〃 －	〃 －			〃 －	〃 －	〃 －	
普通畑	小計		2,686 3,013				2,686 3,013		23 32	
樹園地	果樹類(りんご他) 果樹類		260 235	〃 －			260 235	〃 －	2 3	
樹園地	小計		260 235				260 235		2 3	
計			11,052 9,384				11,052 9,384		99 100	
市町村別延べ作付率(%)			61 52				61 52			

2020農林業センサス
H27農林業センサス

上段:変更後
下段:変更前

５．農業の動向

（2020農林業センサス）
（2015農林業センサス）

（第７表－５）

項目／区分	農家	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	土地	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	主要作物	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	大家畜	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	動力農機具	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	その他	地域指定等	備考
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家	88 92	70 81	耕地	92 92	75 81	水稲	95 98	86 93	乳用牛	70 81	57 57	耕耘機 ﾄﾗｸﾀｰ	89 89	－ 79		農振 S48.3 S45.3	A:令和2年 (2020)
	専業農家数	89 121	－ 108	田	95 91	77 81	雑穀	－ 72	－ 109	肉用牛	76 76	56 57	動力田植機	80 82	－ 64		野菜 － S45	A:平成27年 (2015)
	第一種兼業農家	83 77	－ 64	畑	84 99	68 82	大豆	85 118	64 100	豚	67 100	73 66	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	92 74	－ 68		果樹 － S55	B:平成27年 (2015)
	第二種兼業農家	81 81	－ 65	樹園地	93 72	74 68	小麦	115 73	103 84	採卵鶏	82 93	68 76	動力防除機	〃 －	〃 －		酪農 － S59	B:平成22年 (2010)
	農業従事者	76 160	51 121	草地	－ 100	－ 91	野菜	102 82	92 82								過疎 H17.9 －	C:平成22年 (2010)
																	山振 S45.12 －	C:平成17年 (2005)
																	特農指定 H5.9 －	
変化の理由	総農家数、農業従事者は減少している。 法人組織育成により総農家数、農業従事者数とも減少している。			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。 農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水稲は水田畑の利用の推進により、減少している。 水稲は水田畑利用の推進により、近年は減少傾向になっている。また、転作農地の有効利用は減少している。			畜産農家が減少している。 畜産農家の減少に伴い肥育家畜数も減少している。			農作業の省力化を図るため、大型ﾄﾗｸﾀｰ、ｺﾝﾊﾞｲﾝの導入が進み、機械台数が減少している。 農作業の省力化を図るため、大型ﾄﾗｸﾀｰ、ｺﾝﾊﾞｲﾝの導入が進んでいる。一方、水稲の作付面積が減少しているため農機具も減少傾向にある。					

第６節　地域環境の概況

一関市では豊かな水と彩りある美しい緑に包まれており、市の中央を南流する北上川には、磐井川、砂鉄川、千厩川、金流川などが注ぎ込み、多様な水辺環境を形成している。市の西部には栗駒国定公園に指定されている奥羽山系や、東部は室根高原県立自然公園となっている室根山をはじめとする高地の丘陵地帯が広がっている。なお、本地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種の生育・生息が確認されて

地域では、水田や水路・ため池が隣接して、水路付近には、シナイモツゴ、スナヤツメ等の魚類や、ドブガイ等の貝類、クロサンショウオ等の両生類、サンコウチョウ等の鳥類、ゲンジボタル、オゼイトトンボ等の昆虫類の生息が確認されている。

また、植物では、キキョウ、オミナエシ、ノダイオウ、オオニガナ等が生育している。

地域ではそれらの生態保護に配慮し、隣接する森林などの水源地の保全、ため池や用排水路の維持管理に取り組んでいる。

上段:変更後
下段:変更前

第４章　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．要　旨

〃

本計画地域は、岩手県の最南端の一関市中心部より西方10kmの一関市萩荘に位置し、地区の西側に連なる須川岳（栗駒山）をはじめとする奥羽山脈の裾野に広がる丘陵地帯である。地区内には、一級河川久保川、一級河川市野々川、一級河川栃倉川及びその他複数の河川が流れ、また、国道457号と県道本郷・五串線が走り、各河川沿いに形成された松原、市野々の集落からなる水田地帯である。

本地区は、団体営土地改良事業市野々地区及び団体営土地改良事業松原地区で整備し、30a区画となっている。

地区内の水路は、一部土水路であるが、大部分がコンクリートフリューム及びコンクリート柵渠で装工されているものの老朽化による劣化が著しく、用水路の目地からの漏水や排水路の柵渠の倒壊による土壌の浸食等が生じ、水管理の負担の増加、及び水路の補修・更新などの維持管理費の増加が地区の問題となっている。

以上の問題を解消するために、用排水路の更新整備を行い、水管理及び維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

２．事業別面積

（第８表）

事業名	区画整理																		計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
用排水整備	75.6 75.7					75.6 75.7													75.6 75.7	
計	75.6 75.7					75.6 75.7													75.6 75.7	

上段:変更後
下段:変更前

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

本事業において、用水のＢＦによる舗装によっての用水の有効利用を図るとともに、排水路の整備を行い、農地の集積に妨げとなっている営農条件を解消することにより、経営規模拡大による低コスト農業を目指す。

1)　経　営　方　式　・・・・・　水田

2)　経　営　組　織　・・・・・　大型機械による

3）作付体系及び作業体系・・・・・　移植栽培

２．土地利用区分

（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
用排水整備	現　況	75.6 75.7						75.6 75.7				75.6 75.7	
	計　画	75.6 75.7						75.6 75.7				75.6 75.7	
	現　況												
	計　画												
計	現　況	75.6 75.7						75.6 75.7				75.6 75.7	
	計　画	75.6 75.7						75.6 75.7				75.6 75.7	

上段：変更後
下段：変更前

３．作付方式

（第9表－2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
用排水整備	現況	水稲＋大豆WCS加工米	田	〃 水稲 〃 大豆 〃 ホールクロップサイレージ 〃 加工米	同左	同左	同左	
	計画	水稲＋大豆WCS加工米	田	〃 水稲 大豆 〃 ホールクロップサイレージ 〃 加工米	同左	同左	同左	
				凡例 作付 収穫				

上段:変更後
下段:変更前

４．生産計画

（第９表－３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 現況	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	同左生産量増減の内訳 (t) 単位面積当たり収量増加	備考
用排水整備	水田	表作	水稲	57.6 57.7	57.6 57.7		79.4 79.5	79.4 79.5	522 525	553 557	31 32	300.7 302.9	318.5 321.4	17.8 18.5		17.8 18.5	
			加工米	2.3 2.4	2.3 2.4		3.2 3.3	3.2 3.3	522 525	553 557	31 32	12.0 12.6	12.7 13.4	0.7 0.8		0.7 0.8	
			大豆	－ 1.7	－ 1.7		－ 2.3	－ 2.3	－ 89	－ 147	－ 58	－ 1.5	－ 2.5	－ 1.0		－ 1.0	
			ＷＣＳ	12.6 10.8	12.6 10.8		17.4 14.9	17.4 14.9									
		裏作															
	小　計			72.5 72.6	72.5 72.6		〃 100.0	〃 100.0									
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	小　計																
合　計				72.5 72.6	72.5 72.6		〃 100.0	〃 100.0									

※作付面積は本地面積で整理

上段:変更後
下段:変更前

5．労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
用排水整備	水田	水稲	24.9 22.7	人力	16.3 20.4	16.3 20.4		30a乾田(1ha) →30a乾田(2ha)(No,1-1)
				機械力	10.8 15.7	10.8 15.7		30a乾田(1ha) →30a乾田(2ha)(No,1-1)
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計		24.9 22.7					
合計			24.9 22.7					

6．級地別土地利用区分

〃
該当なし

7．土地配分計画

〃
該当なし

第３節　用水計画

１．計画基準年

〃
昭和45年
（かんがい期有効雨量、かんがい期総干天日数、かんがい期連続干天日数とも1/10確率年に近い年）

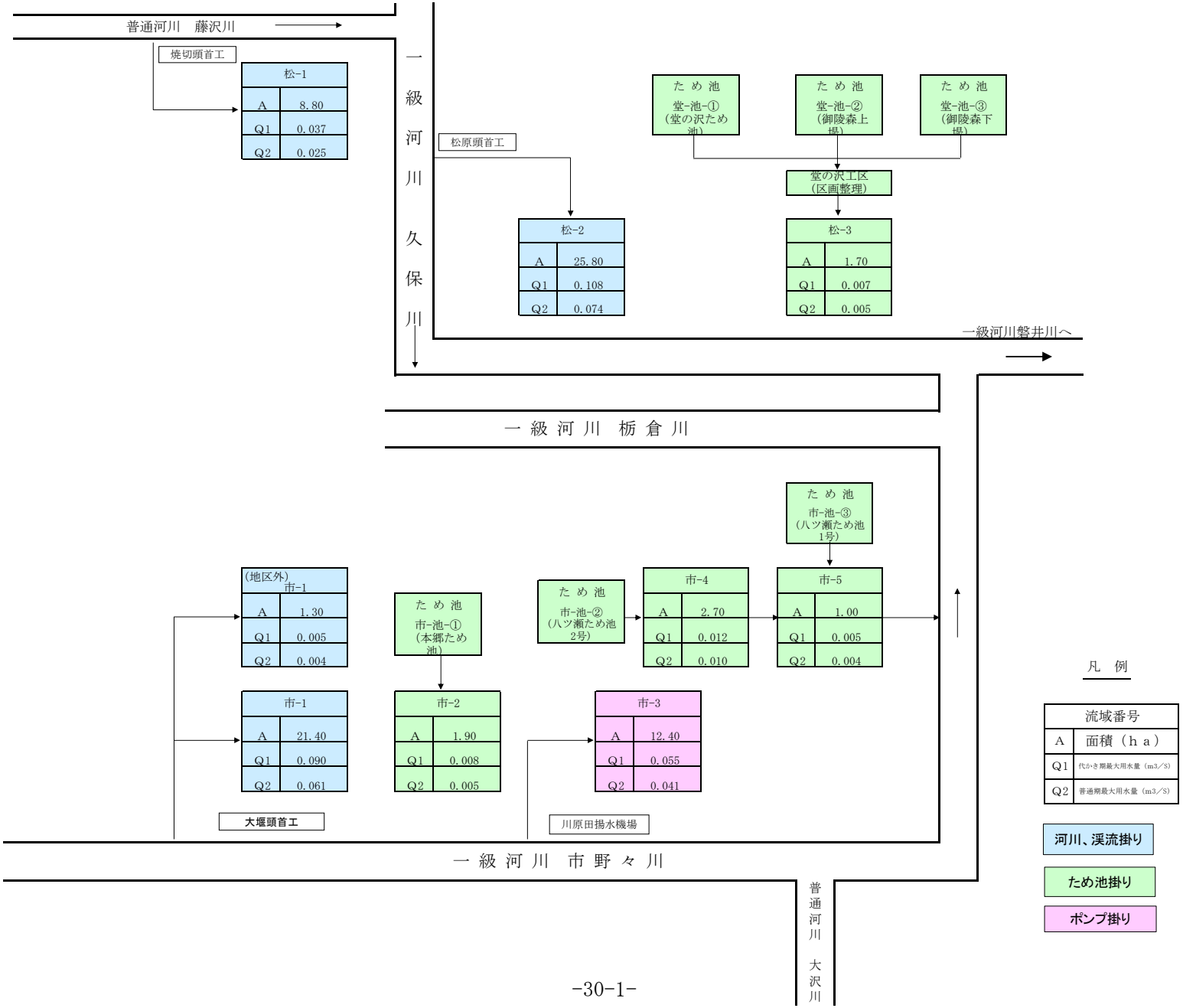
２．計画かんがい方式

〃
水田（水稲）　　開水路方式
〃
水田（転作物）　開水路方式

３．計画用水系統図

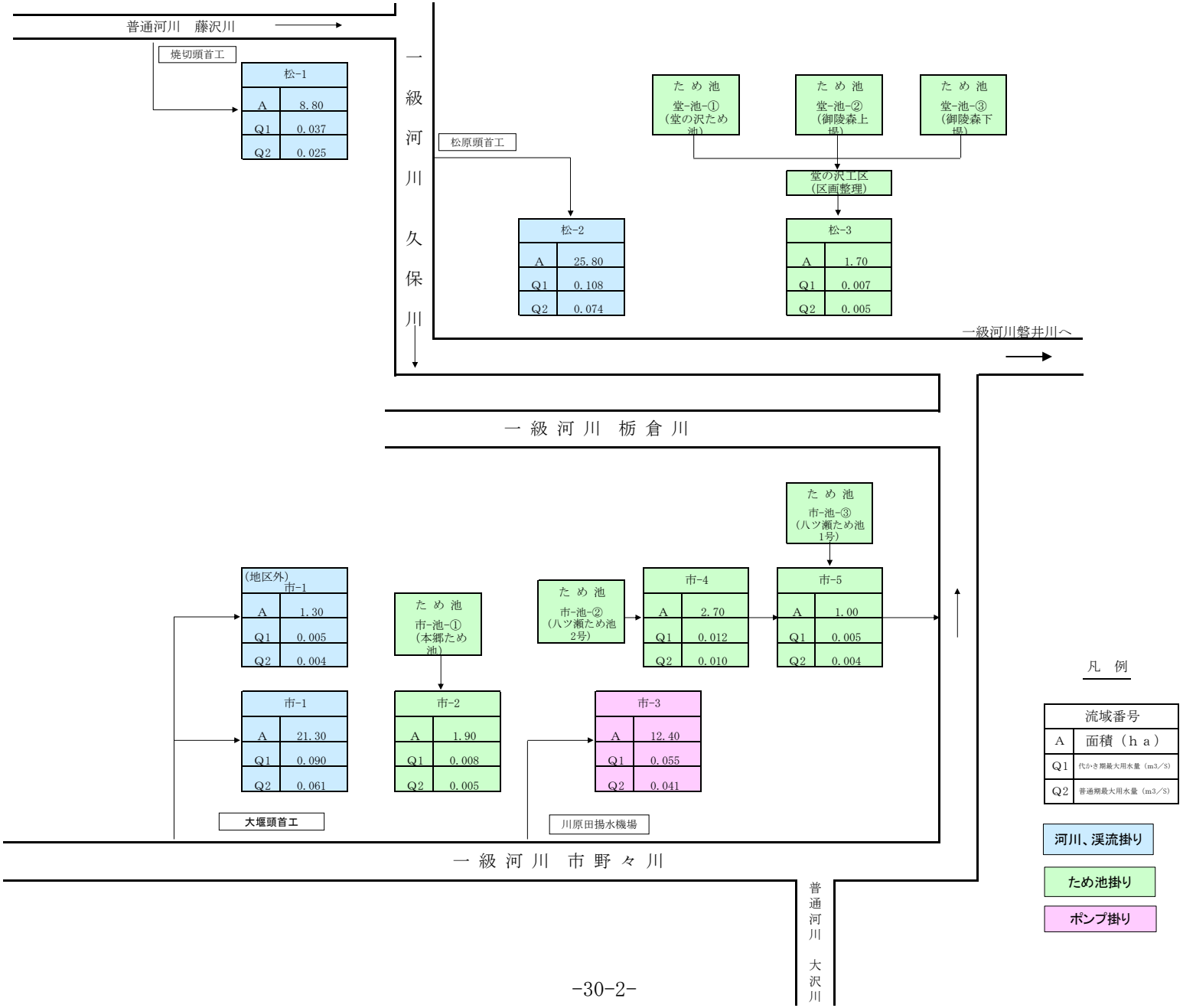
〃
次頁参照

市野々地区（用排水整備）　計画用水系統模式図



変更後

市野々地区（用排水整備）　計画用水系統模式図



上段：変更後
下段：変更前

4．計画用水量

(1)　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 用排水整備	面積(ha) 事業名 (地区外)	面積(ha) 事業名 計	水田かんがい 普通期 計画単位用水量平均 (mm/日)	水田かんがい 代かき期 計画単位用水量代かき (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	水田畑利用 平均間断日数 (日)	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画平均単位用水量 (mm/日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m3/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m3/s)	粗用水量 最大 (m3/s)	備考
市野々川	農業用水	33.7 33.8		33.7 33.8	〃 21～26	〃 120	33.7 33.8									〃 0.123	〃 15	〃 0.102	〃 0.145	
藤沢川	農業用水	〃 8.8		〃 8.8	〃 21	〃 120	〃 8.8									〃 0.031	〃 15	〃 0.025	〃 0.037	
久保川	農業用水	〃 25.8		〃 25.8	〃 21	〃 120	〃 25.8									〃 0.092	〃 15	〃 0.074	〃 0.108	
ため池	農業用水	〃 7.3		〃 7.3	〃 21～26	〃 120	〃 7.3									〃 0.027	〃 15	〃 0.024	〃 0.032	
計		75.6 75.7		75.6 75.7			75.6 75.7									〃 0.273		〃 0.225	〃 0.322	

(2)　営農飲雑用水

〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

5．水源計画

(1)　水利用計画

（第１０表－２）

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
用排水整備		〃		〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃
	松原	212		212	249	藤沢川	581	212			—	—	取水工	0.15
		〃		〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃
	松原	511		511	601	久保川	1,355	511			—	—	取水工	0.15
		〃		〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃	〃
	市野々	861		861	1,013	市野々川	1,050	861			—	—	取水工・揚水機場	0.15
		〃		〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃		〃
	ため池	201		201	237	ため池	237	201			—	—		0.15
		〃		〃	〃		〃	〃						
	計	1,785		1,785	2,100		3,223	1,785						

上段：変更後
下段：変更前

（２）用水対策

（ア）　貯　水　池　　〃 該当なし

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積（km²） 直接	流域面積（km²） 間接	かんがい面積（ha） 事業名 用排水整備	事業名	事業名 計	純貯水量（千m³）	純貯水量（千m³）	利用貯水量（千m³）	利用回数（回）	最大取水量（m³／s）	備考

（イ）井堰及び自然取入口　　〃 該当なし

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積（km²）	かんがい面積（ha） 事業名 用排水整備	事業名	事業名 計	取水量（m³/s） 最大	取水量（m³/s） 平均	渇水量（m³/s）	備考

（ウ）　揚　水　機　　〃 該当なし

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha） 事業名 用排水整備	事業名	事業名 計	所要水量（m³/s） 最大	所要水量（m³/s） 平均	揚水機 実揚程（m）	揚水機 揚水量（m³/s）	揚水機 台数（台）	揚水機 全揚水量（m³/s）	備考

上段:変更後
下段:変更前

（エ）用　水　路

（第１０表－６）

項　目 名　称	かんがい面積（ha） 事　業　名 用排水整備	（地区外）	計	最大通水量 (m^3/s)	延　長 (km)	構　造	備　考
用水路工	75.6 75.7		75.6 75.7	0.145 0.147	13.603 13.455	〃 BF300～BF600	

（オ）その他の水源施設　　該当なし〃

（３）　水質水温　　該当なし〃

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

〃
（計画樹立参考資料　H21.2月版　一関気象観測所）

	〃	〃
最大２４時間雨量	131.4 mm （1／10年）	87.0 mm （1/2年）
最大　４時間雨量	〃 73.1 mm （1／10年）	〃 46.7 mm （1/2年）
最大　１時間雨量	〃 36.8 mm （1／10年）	〃 23.3 mm （1/2年）

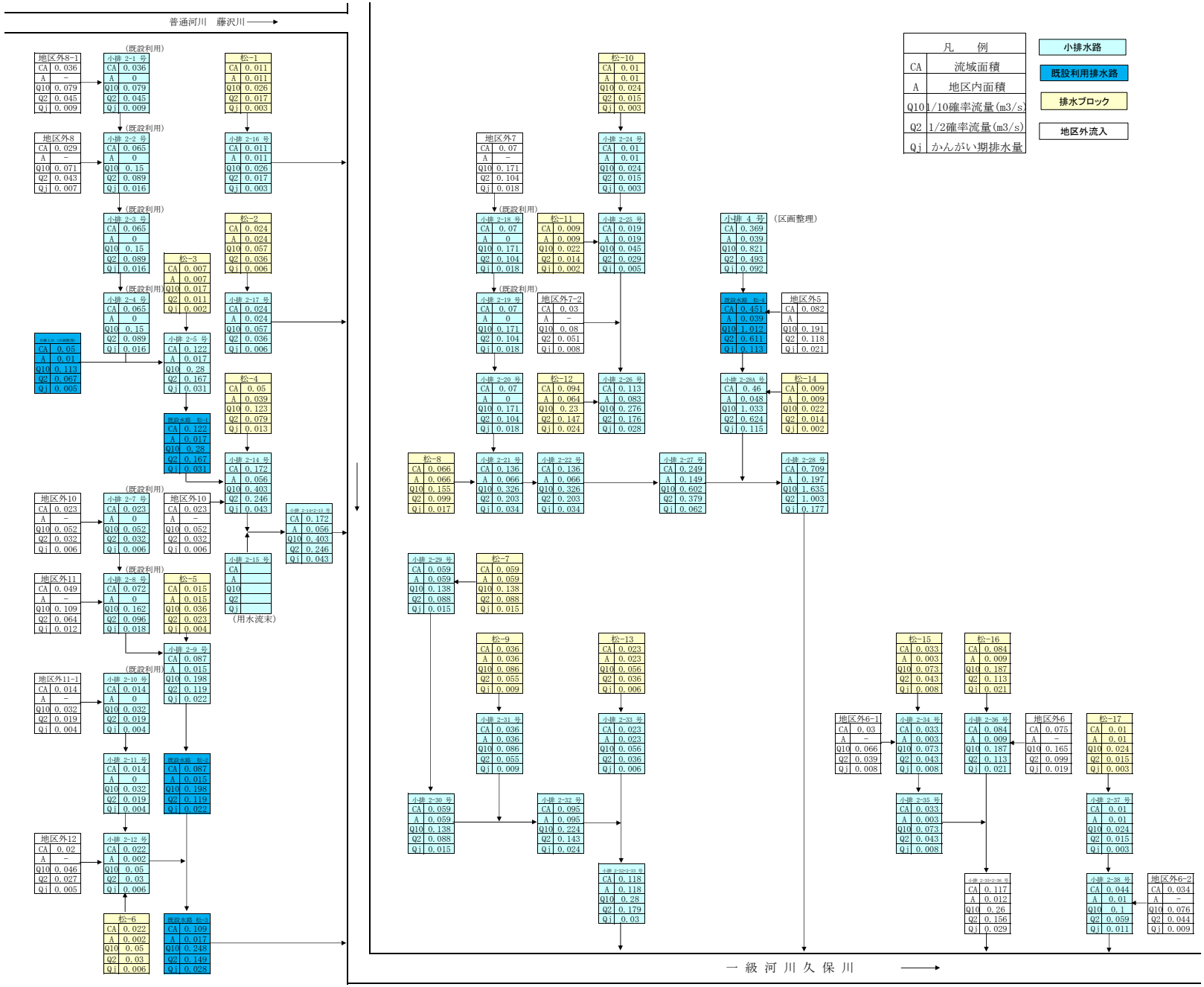
２．計画排水方式

〃
自然流下排水

３．計画排水系統図

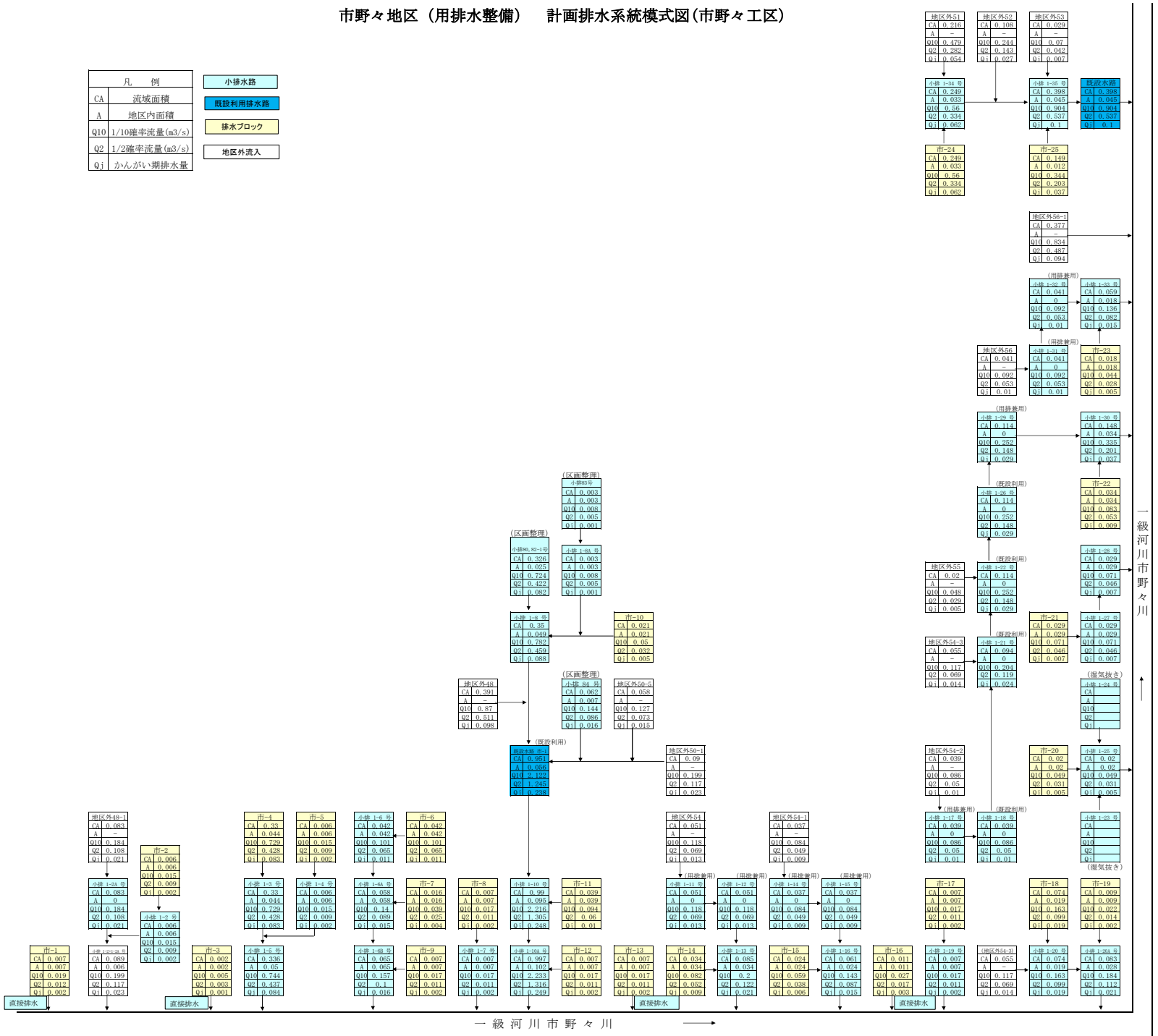
〃
次頁参照

市野々地区（用排水整備）　計画排水系統模式図(松原工区)



市野々地区（用排水整備）　計画排水系統模式図（市野々工区）

変更前後同



上段：変更後
下段：変更前

4．計画排水量

（第１1表－1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 用排水整備		計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	平地 機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
久保川	〃 36.3		〃 36.3	〃 0.087	〃 0.475	〃 73.1mm/4hr	1/10確率 〃 2.19	〃 1.458～3.3		〃 0.20	〃 0.190	〃 1.136	〃 －	1/10確率 〃 2.19	〃 1.458～3.3	
市野々川	39.3 39.4		39.3 39.4	〃 0.609	〃 0.546	〃 〃	〃 〃	〃 〃		〃 〃	〃 1.332	〃 1.324	〃 －	〃 〃	〃 〃	
計	75.6 75.7		75.6 75.7	〃 0.696	〃 1.021						〃 1.522	〃 2.460	〃 －			

上段:変更後
下段:変更前

5．排水対策

(1)　排水水門　　該当なし

(2)　排 水 機　　該当なし

(3)　排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
小排水路	〃 0.562	〃 36.3		〃 36.3	〃 1.326	4.017 3.943	〃 排水ﾌﾘｭｰﾑ	〃 久保川	〃 －	〃 －	
	〃 1.155	39.3 39.4		39.3 39.4	〃 2.656	3.681 3.614	〃 排水ﾌﾘｭｰﾑ	〃 市野々川	〃 －	〃 －	
計	〃 1.717	75.6 75.7		75.6 75.7	〃 3.982	7.698 7.557					

(4)　その他　　〃
該当なし

6．湛水検討　　〃
該当なし

第５節　道路計画

１．道路及び索道

（１）道路　　〃 該当なし

（第１２表－１）

項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
計				

（２）索道　　〃 該当なし

２．路線配置図

〃 該当なし

路線配置図

〃
該当なし

第６節　農用地造成計画

〃
該当なし

第７節　洪水調節計画

〃
該当なし

第８節　干拓計画

〃
該当なし

第９節　農用地整備計画

１．区画整理

(1)　区画の形状

〃
該当なし

（第１６表－１）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
計					

(2)　表土扱い

〃
該当なし

（第１６表－２）

面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　　量 (m3)	備　　考

(3)　末端道水路配置図

〃
別紙のとおり

２．暗渠排水

（１）暗渠排水

〃
該当なし

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (リットル/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口下の排水方式	備考
計									

３．客　　土

〃
該当なし

４．農　地　保　全

〃
該当なし

第１０節　老朽ため池改修計画

〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第５章　　主　要　工　事　計　画

第１節　用水施設

１．貯　水　池　　〃
該当なし

２．頭　首　工　　〃
該当なし

３．揚　水　機　　〃
該当なし

（第１７表－３）

項目 / 名称	位置	揚水量 (m3/s)	揚程		揚水機			原動機			備考
			全揚程 (m)	実揚程 (m)	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	

上段:変更後
下段:変更前

4．用　水　路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積 (ha) 事業名 用排水整備	(地区外)	計	通水量 (m^3/s)	延長 (km) 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
用水路工	75.6 75.7		75.6 75.7	0.001～0.145 0.001～0.146	13.603 13.455	－ －	13.603 13.455	〃 BF300～600		〃 取水工	
計	75.6 75.7		75.6 75.7		13.603 13.455	－ －	13.603 13.455				

5．その他かんがい施設

〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第２節　排水施設

１．排水水門　　〃
該当なし

２．排　水　機　　〃
該当なし

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 用排水整備		計	排水量 (m^3/s)	延長（km） 開水路	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
排水路工	75.6 75.7		75.6 75.7	〃 0.005～2.229	7.698 7.557		7.698 7.557	〃 HF300×300 1100×900 ～1500×900	〃 1/150～ 1/500	〃 水槽工	
計	75.6 75.7		75.6 75.7		7.698 7.557		7.698 7.557				

４．その他排水施設　　〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第３節　道路及び索道

１．道　　路

(1)　道路の総括表　　該当なし

（第１９表－１）

項目 区分	路線名	幅（有効）×延長 (m)　　(km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2)　道路主要構造物　　該当なし

２．索　　道　　該当なし

第４節　農用地造成　　〃
該当なし

第５節　洪水調節施設　　〃
該当なし

第６節　干拓施設　　〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理　該当なし〃

（第２３表－１）

工　区　名	面　　積（ha）	整　地　工		表　土　扱　い		備　考
		標　準　区　画	土　　量（m^3）	面　　積（ha）	土　　量（m^3）	

２．暗渠排水

（１）暗渠排水　該当なし〃

（第２３表－２）

項目／区分	面　積（ha）			集　水　渠				吸　水　渠						集水渠出口以下の排水施設			備　考
	事　業　名			勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
	区画整理		計														
計																	

３．客　　土　　該当なし〃

４．除　　礫　　該当なし〃

５．農地保全　　該当なし〃

第８節　老朽ため池改修施設　　該当なし〃

第６章　　付　帯　工　事　計　画

〃
該当なし

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着　手	平成	〃 25	年度
完　了	令和	7 5	年度

第８章　　環境との調和への配慮

本地区は、昭和50年代に団体営土地改良事業により区〃画整理済みの区域であり、特に希少野生動植物は確認されていないが、工事の際、希少野生動植物が確認された場合は、施工前に生息可能な場所に移植等を行い、生態系や景観に配慮した計画とする。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

〃
該当なし

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積　　〃該当なし

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
計		

２．換地区を設定する理由　　〃該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準　〃

該当なし

（第２５表－２）

換地区名	地　積　の　基　準

上段：変更後
下段：変更前

２．用途別予定地積　該当なし

（単位：ha）（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第１条の（　）書き			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計								
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地																													
	換地																													

上段:変更後
下段:変更前

３．農用地集団化の方針

〃
該当なし

（第２５表－４）

区　分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

４．非農用地換地の方法

〃
該当なし

（第２５表－５）

区　分 地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積(m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

〃
該当なし

２．清算の方法

〃
該当なし

第５節　換地計画樹立の年度計画

〃
該当なし

（第２５表－６）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第６節　換地処分の時期に関する特則

〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第１０章　　事業費の総額及び内訳

単位：千円

事業区分	事業費		資金計画 国費		資金計画 県費		資金計画 市町村費		資金計画 受益者負担	
用排水整備	純工事費	813,000 720,000	447,150 396,000	〃 (55%)	243,900 216,000	〃 (30%)	81,300 72,000	〃 (10%)	40,650 36,000	〃 (5%)
	測量試験費	110,000 75,000	60,500 41,250	〃 (55%)	33,000 22,500	〃 (30%)	11,000 7,500	〃 (10%)	5,500 3,750	〃 (5%)
	用地買収補償	9,000 15,000	4,950 8,250	〃 (55%)	2,700 4,500	〃 (30%)	900 1,500	〃 (10%)	450 750	〃 (5%)
	換地費									
	工事雑費	〃 —			〃 —	〃 —				
	計	932,000 810,000	512,600 445,500		279,600 243,000		93,200 81,000		46,600 40,500	
	事務費	〃 —			〃 —	〃 —				
	総事業費	932,000 810,000	512,600 445,500		279,600 243,000		93,200 81,000		46,600 40,500	

第１１章　　効　　用

単位：千円

事業区分	区分＼項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
用排水整備	作物生産効果	32,303 25,938		
	営農経費節減効果	25,642 19,006	40,700 24,755	
	維持管理費節減効果	△ 2,037 △ 1,552	18 △ 45	
	国産農産物安定供給効果	7,030 3,544		
	計	62,938 46,936	40,718 24,710	総費用総便益比 1.57 1.49

上段:変更後
下段:変更前

第１２章　関　連　す　る　事　業

〃
該当なし

（第２８表）

区　分	事　　業　　名	事　業　主　体	受　益　面　積 (ha)	事　業　内　容

上段:変更後
下段:変更前

第１３章　　現 況・計 画 図 面

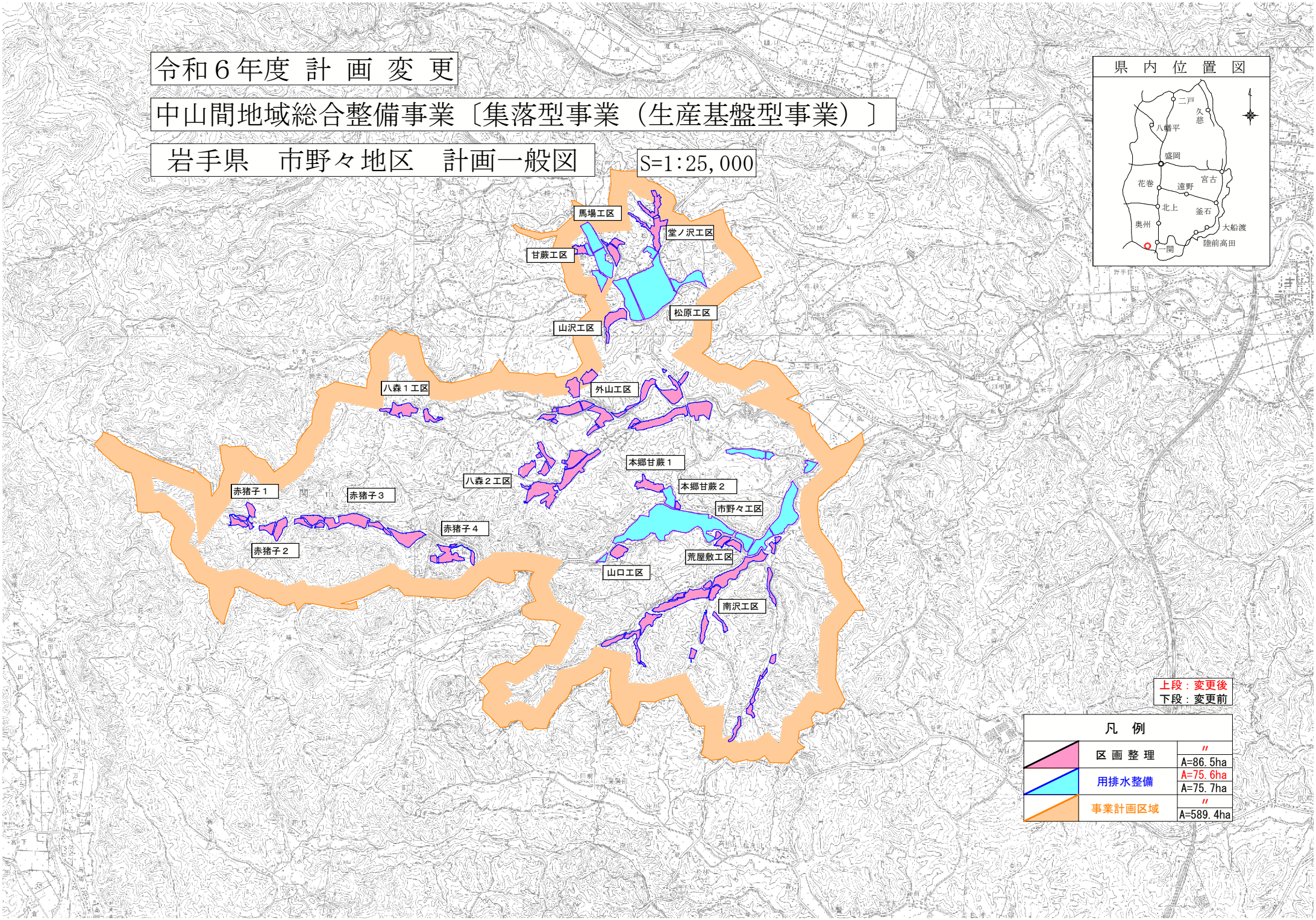
１．位　　置　　図	〃 別途添付
２．現　況　計　画　平　面　図	〃 別途添付
３．土　地　利　用　計　画　図	〃 別途添付
４．主　要　構　造　図	〃 別途添付

令和６年度 計 画 変 更

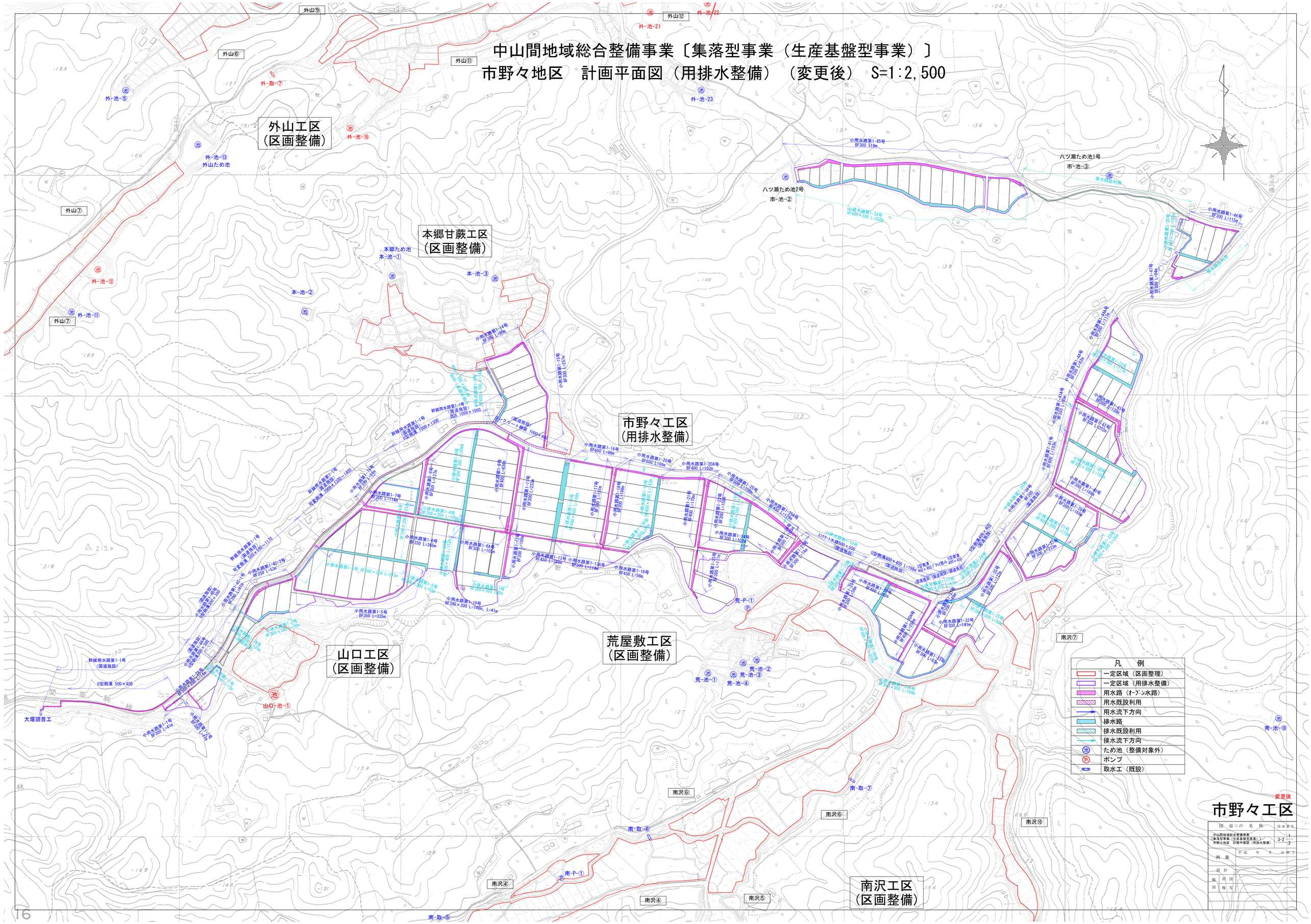
中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕

岩手県　市野々地区　計画一般図

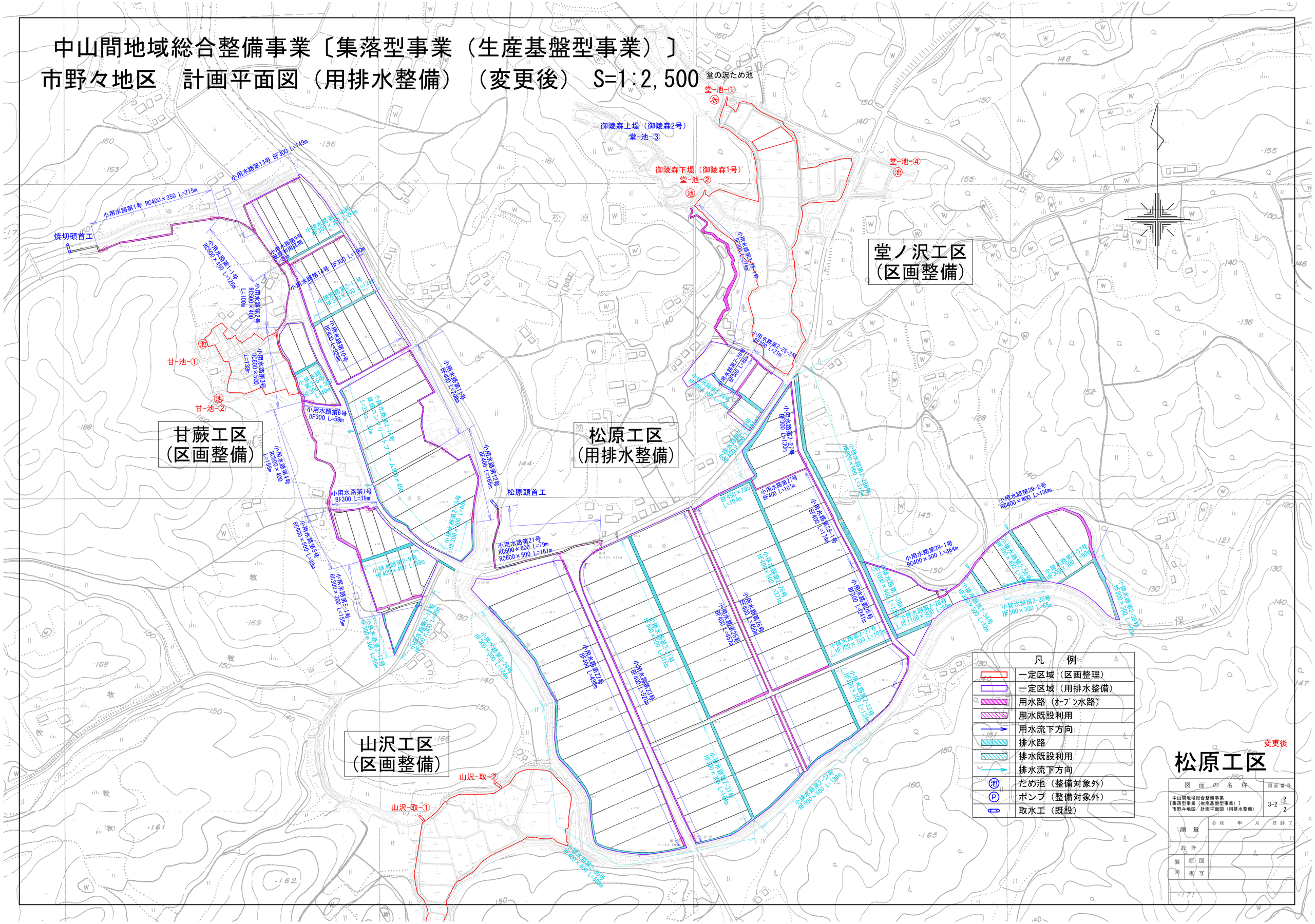
S=1:25,000



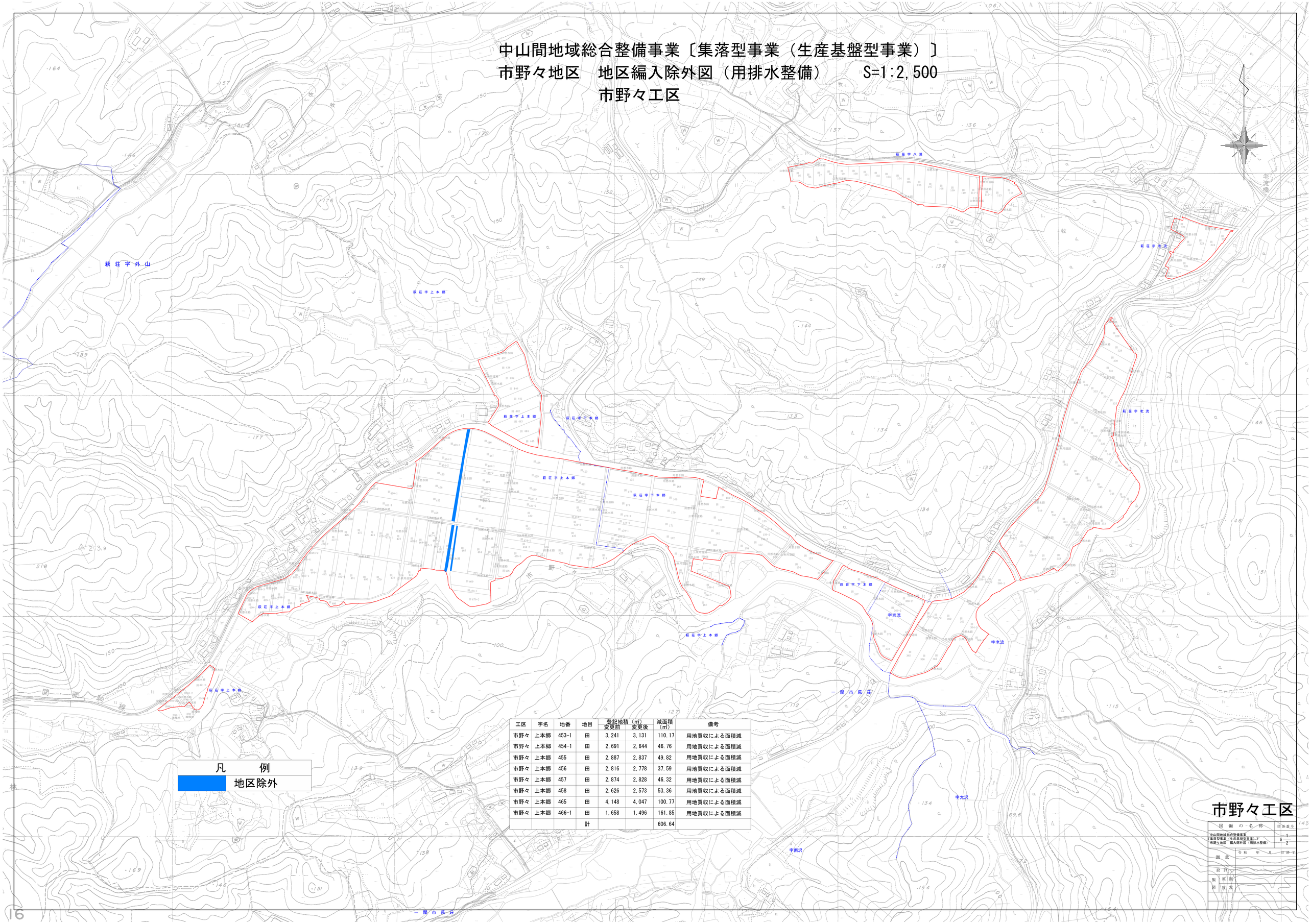
中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕
市野々地区　計画平面図（用排水整備）（変更後）　S=1:2,500



中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕
市野々地区　計画平面図（用排水整備）（変更後）　S=1:2,500



中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕
市野々地区　地区編入除外図（用排水整備）　S=1:2,500
市野々工区



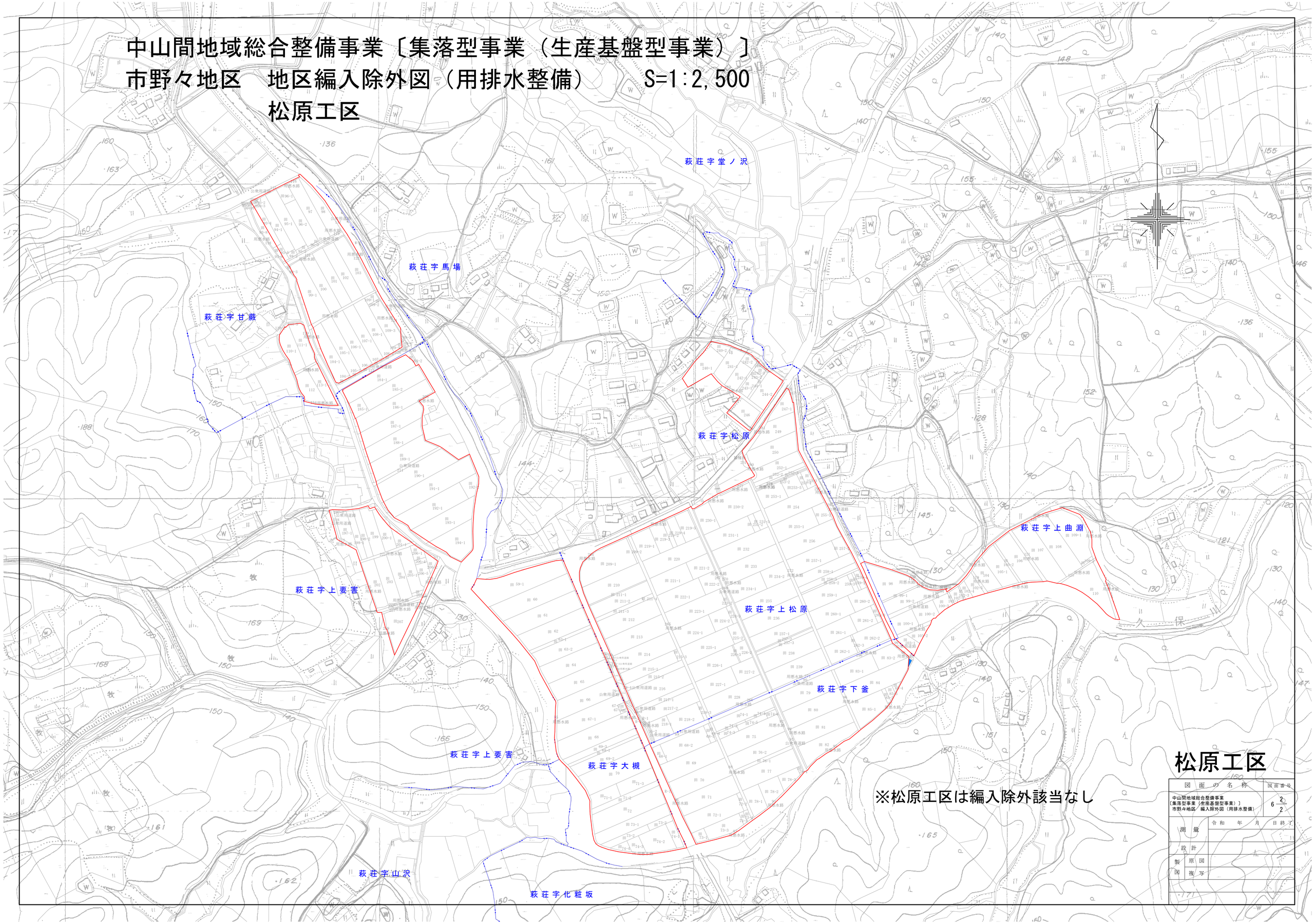
工区	字名	地番	地目	登記地積（㎡） 変更前	登記地積（㎡） 変更後	減面積（㎡）	備考
市野々	上本郷	453-1	田	3,241	3,131	110.17	用地買収による面積減
市野々	上本郷	454-1	田	2,691	2,644	46.76	用地買収による面積減
市野々	上本郷	455	田	2,887	2,837	49.82	用地買収による面積減
市野々	上本郷	456	田	2,816	2,778	37.59	用地買収による面積減
市野々	上本郷	457	田	2,874	2,828	46.32	用地買収による面積減
市野々	上本郷	458	田	2,626	2,573	53.36	用地買収による面積減
市野々	上本郷	465	田	4,148	4,047	100.77	用地買収による面積減
市野々	上本郷	466-1	田	1,658	1,496	161.85	用地買収による面積減
			計			606.64	

市野々工区

図面の名称	図面番号
中山間地域総合整備事業 集落型事業（生産基盤型事業）-7 市野々地区　編入除外図（用排水整備）	6 - 1 2

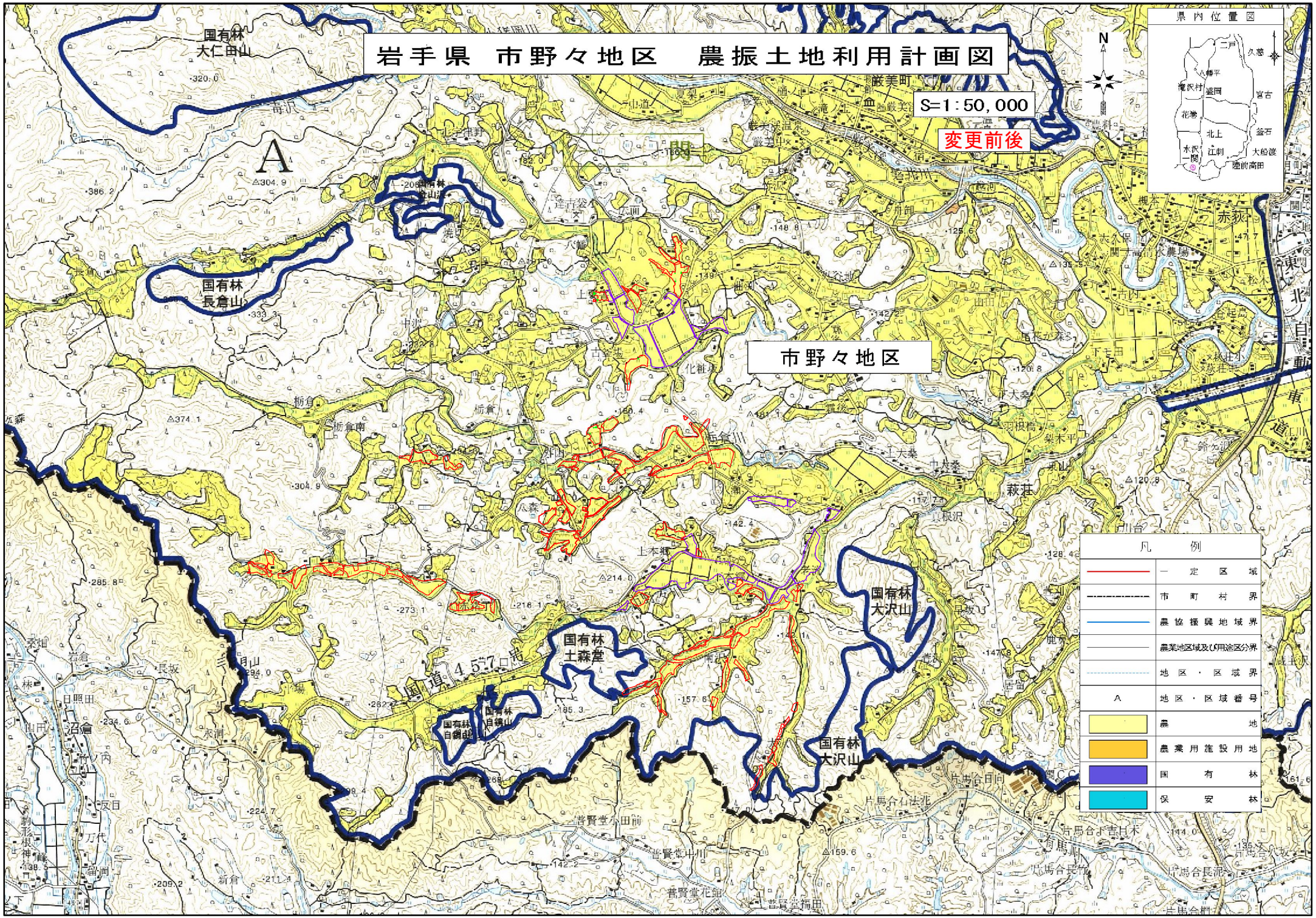
令和　年　月　日終了
測量
設計
製図
原図
複製

中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕
市野々地区　地区編入除外図（用排水整備）　S=1:2,500
松原工区



図面の名称		図面番号
中山間地域総合整備事業 〔集落型事業（生産基盤型事業）〕 市野々地区／編入除外図（用排水整備）		6 2/2
測量	令和　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		

岩手県　市野々地区　農振土地利用計画図

S=1：50，000

変更前後